

第3学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和8年5月27日 5校時 教室

3年5組 34名

1 単元名 「大豆プロジェクト(仮)」

2 本時のねらい

・国語で関心をもった大豆を原料とした食べ物を作って味わうことで、作ることへの関心を高める。

3 教師の願い。

・大豆を原料とした食べ物を作り、食べることで関心を高め、もっと作りたいという思いを強くしてほしい。

4 本時の展開(4/52)

時間	主な活動内容	○・・・留意点等 評 ・・・評価
5分	豆腐を作って味わおう	
	1. 前時の振り返りをする。 C:大豆が硬かったです。 C:豆腐やきなこは大豆と違いました。	
30分	2. 活動の見通しをもつ。 C:豆乳とにがりで作るんだ。 C:量を測る道具はこれだな。 C:作り方を確かめてから作ろう。 3. 豆腐を作る。 C:豆乳は少し大豆の香りがするぞ。 C:うまく豆腐にならないぞ。 C:作り方は合っているかな。 C:熱くなっているから気を付けよう。 4. 豆腐を味わう。 C:本当に豆腐になったぞ。 C:温かい豆腐もおいしい。 C:前の時間に食べた豆腐と食感が違うな。 C:豆乳の味がするよ。 C:豆乳って自分でも作れるのかな。	○エプロン、マスク、三角巾を身に着け、髪の毛の長い児童は結ぶように声を掛ける。 ○大豆やそれぞれの違い、似ているところを感じながら食べられるように声を掛ける。 ○児童の様子を見ながら前時に食べた食品と比べてどうか考えられるよう声を掛ける。
10分	5. 学習の振り返りをする。 C:同じ豆腐でも食べた感じが違った。 C:前に食べた豆腐みたいにするにはどうしたらいいんだろう。 C:もっと豆腐を作ってみたいな。	評 豆腐を食べ、前時に食べた食品と比べた感想をまとめようとしている。